

2018年度 分野別A1群科目一覧

複合領域科目および領域コース

	総合科目	基礎科目	特論科目
知的 財産		知財のグローバル化と言語の多様性 ロボット産業とイノベーション 国際知財政策 A, B 国際コンテンツビジネスと著作権	産学連携, ベンチャー起業の基礎 A, B 新規市場開拓としてのイノベーション経営 (CSR 経営) 知的財産と起業 バイオ・イノベーションと知財 中国産業・知財の基礎 A, B
産業 政策	開発協力論	企業と労働 I, II	雇用環境と労働 産業・技術移転論 産業構造論 I, II 産業政策とデジタルコンテンツ論の基礎 デジタル家電の興亡 ニース型社会と新産業創出 日本産業の将来設計 マーケティング論基礎 マーケティング論応用 CIO (最高情報責任者) 概論
科学 技術	日常生活とリスク 21 世紀における科学技術と社会 生命の思想史	科学・技術の社会史 日本科学技術史	改善技術論 科学技術とコミュニケーション 技術開発論 運動と重力の物理思想史 光と電子の物理思想史 科学社会学 先端技術と暮らしのイノベーション 科学技術政策論 科学技術と現代社会 技術倫理
環境・ 倫理・ 生命	国際保健医療論		開発倫理 生命倫理 健康の生態学 生物と環境適応 自然生態調査論
政治・ 経済・ 法律	企業行動と経営 現代経済の構造と変容	経済制度論 A, B 政治学 法学入門 憲法 I, II	経営戦略論 経営管理論 経済学 A (ミクロ), A (マクロ) 経済学 B (ミクロ), B (マクロ) 経済制度論 C, D 現代企業論 消費者の経済学 統計学基礎 統計学応用
社会・ 生活	高度情報社会における人間関係 高齢化社会の設計 社会参加とボランティア	社会調査の設計 社会調査データの分析 都市と地域の社会学 社会学概論 文化人類学概論 フィールドワーク概論 観光文化論 情報とメディアの社会学 生活と住まい	情報倫理 情報社会論 都市人類学 応用人類学 都市のフィールドワーク
心理・ 精神・ 認知	ストレスと自殺 変革期の社会と心理 産業社会のメンタルヘルス		精神分析論 認知心理学 I, II 社会心理学 I, II 心理学 I, II 心理療法 産業・組織心理学

2018年度 分野別A1群科目一覧

	総合科目	基礎科目	特論科目
文化・言語・地域	時代の青年像 生活空間の文化	越境する文化 人間の表現 文字と文化 劇場と文化 「ことば」の世界 日本の詩、世界の詩 舞台芸術論 プレゼンテーションスキル 複合文章表現 1, 2, 3 翻訳と文化 人文地理学 各国語文化入門 (ドイツ語、フランス語、中国語、 スペイン語、ロシア語)	歴史社会学 伝統都市と文化遺産 過去の伝承 近代思想と現代 世界の宗教 日本の宗教 ラテンアメリカの文化と歴史 古代ギリシャ文化と現代 中国の「ところ」 都市と文化 「アジア」を読む 「アジア」を考える 東アジア文化研究 各国語圏文化論 (ドイツ語圏、フランス語圏、中国語圏、 スペイン語圏) 地域研究 (ドイツ、フランス、中国、ロシア、 アフリカ、イスラム圏、東ヨーロッパ、 中南米、英語文化圏)
芸術・思想・メディア	科学と芸術 音と音楽の表現領域	表現とコトバ マスタース・オブ・シネマ映画のすべて1 マスタース・オブ・シネマ映画のすべて2 プラクティカルリーズニング 哲学概論 認知とコミュニケーション 臨場感とメディア技術 社会思想史 メディア処理技術概論 映像史 I, II	インターメディア作曲 I, II 音楽論 境界領域アート論 クロスメディアビジネス 芸術表現 現代マスコミ論 I, II 写真表現 I, II 心身問題研究 プロデュース特論 現在表現概論 A (美術)・B (音楽) 西洋美術史 映画から学ぶ映像表現 映像制作実習 I 映像制作実習 II 奇想のテレビドキュメンタリー論 テレビ論

領域による コース 科目 (3,4年)	基礎演習	演習	卒業論文(領域コース)※基礎演習は、3年次秋学期に履修のこと。
	各領域の主な分野 —— 社会文化領域(知的財産、産業政策、科学技術政策/社会システム、文化、言語、地域)		